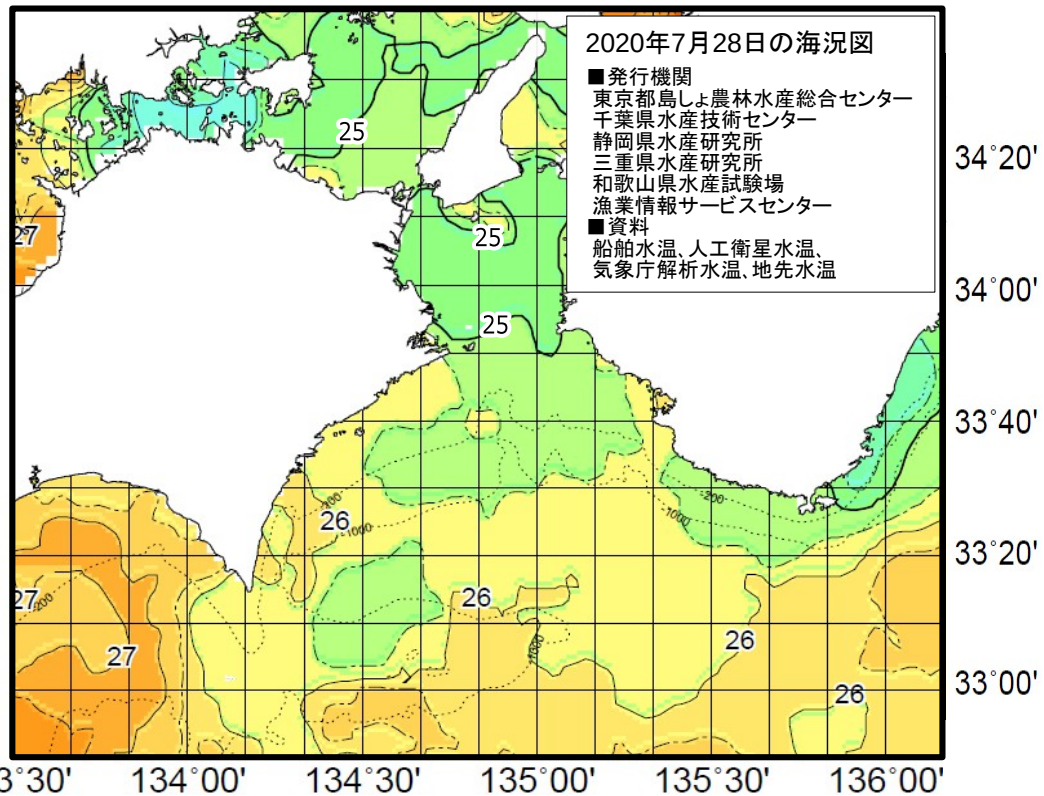


海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮大蛇行は、室戸岬沖、潮岬沖とも「著しく離岸」して流れている。黒潮の表面水温は28℃～29℃台。

徳島周辺海域の水温は、右海況図によると播磨灘で25℃台、紀伊水道で24℃～25℃台、海部沿岸では25℃となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

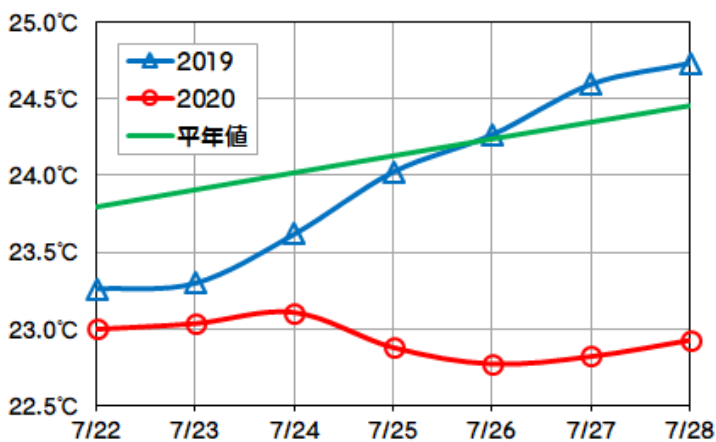
2. 地先水温(2020年7月22日～7月28日)

鳴門地区の水温は、「やや低め」のち「低め」の23.1℃～22.8℃で推移した。

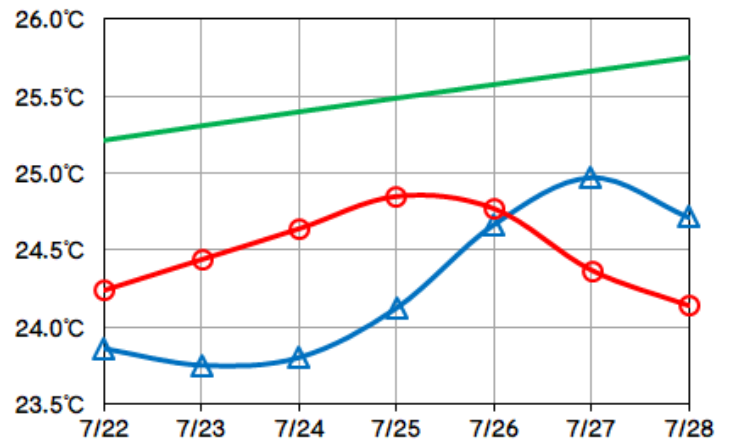
日和佐地区の水温は、「やや低め」～「低め」の24.9℃24.1℃で推移した。

なお、牟岐地区の地先水温は地先水温は26日頃から日和佐地区より低く、平年と比べて「かなり低め」の22℃台となっている。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(7月29日～8月4日)

黒潮は、室戸岬沖は「離岸」～「著しく離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」で推移する見込み。

鳴門地区の水温は、「低め」のち「平年並み」、日和佐地区の水温は「低め」～「やや低め」で推移する見込み。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが減って53.1ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが大きく減って大主体に0.3ト、マアジが減って特大主体に0.1ト水揚げされた。

延縄では、ハモが6.3ト、タチウオが減って特大主体に0.5ト、サワラが増えて2kg級主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリがつばす級主体に2ト、イサキが増えて大主体に0.5ト、マアジが小小主体に0.3ト、マダイが減って0.2ト、ハマフエフキが大きく増えて大主体に0.2ト、ころだい類が増えて大主体に0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが減って中主体に3.6ト、えそ類が大きく減って0.2ト、マダイが大きく減って0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、イサキが0.2ト水揚げされた。

延縄では、キダイが増えて大主体に0.4ト、アカムツが0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、ウルメイワシが大きく増えて1.7ト、マアジが小小主体に0.5ト、マイワシが大きく減って0.4ト、カンパチが大きく増えて0.3ト、さば類が増えて小小主体に0.2ト、その他の小魚類が0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	53,125	531		↘
	釣り	16	イサキ	274	17	大主体	↘↘
		6	マアジ	103	17	特大主体	↘
	延縄	65	ハモ	6,277	97		→
		53	タチウオ	484	9	特大主体	↘
		24	サワラ	237	10	2kg級主体	↗
	小型定置網	21	ブリ	1,989	95	つばす級主体	→
		23	イサキ	482	21	大主体	↗
		23	マアジ	311	14	小小主体	→
		27	マダイ	227	8		↘
		13	ハマフエフキ	181	14	大主体	↗↗
		19	ころだい類	147	8	大主体	↗
	底びき網	26	ハモ	3,592	138	中主体	↘
19		えそ類	219	12		↘↘	
17		マダイ	211	12		↘↘	
海部沿岸	釣り	20	イサキ	169	8		→
	延縄	18	キダイ	448	25	大主体	↗
		27	アカムツ	410	15		→
	小型定置網	22	ウルメイワシ	1,722	78		↗↗
		30	マアジ	504	17	小小主体	→
		13	マイワシ	448	34		↘↘
		12	カンパチ	281	23		↗↗
		8	さば類	165	21	小小主体	↗
28	その他の小魚類	249	9				

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘